

R によるパネル調査データ分析の実践

日時: 2026 年 9 月 8 日 (火) 10:30~17:00

場所: オンライン開催(詳細は別途ご案内)

料金: 一般 5,000 円、学生 2,500 円

講師: 麦山亮太(学習院大学)

定員: 35 名 ※変更の可能性あり

■本コースの内容

日本においても多くの大規模パネル調査データが蓄積されるようになり、パネル調査データの分析可能性は飛躍的に広がっています。本コースでは、統計ソフト R およびその実行環境である RStudio を用いて、パネル調査データを使った分析の基礎的な手順と、代表的なパネル調査データ分析の方法を学習します。具体的には、どのように分析のためのデータセットを作ればよいのか、どのような問いに対してどのような方法を使うべきかに焦点を当てて学習します。たんに結果を出すというだけでなく、どのようにして見やすい図表を作るのか、結果を出力・保存するため効率的なワークフローといった実践的な側面にも重点をおいて解説します。

本コースで扱う内容は、2025 年 2 月 19 日の計量分析セミナー「Stata によるパネル調査データ分析の実践」(<https://ryotamugiyama.com/lecture/2025-02-19-CSRDA.html>) で紹介する実装例を R を用いたものへ修正し、さらに適宜内容を更新したものとなります。

■次のような方におすすめです

- ・ ふだん、R(RStudio)を使ってデータ分析を行っている
- ・ 一時点の社会調査データの分析経験はあるが、パネル調査データを分析した経験はなく、分析してみたい
- ・ パネルデータを分析するための手順を知りたい
- ・ パネルデータの分析方法をどのように選べばよいかわかりたい
- ・ パネル調査データを分析した経験があるが、よりよいデータ構築の手順や方法の選び方について知りたい

■注意事項

- ・ どなたでも参加可能です。
- ・ ただし、SSJ データアーカイブのデータを利用した講義の場合、利用したデータを 9 月中に削除して頂く必要がございます。
- ・ 大学または公的研究機関所属の研究者・学生(学部生も可)、SSJ データアーカイブへデータを寄託されている民間研究機関の方は、その後、研究目的で SSJ データアーカイブより申請して頂くことで利用可能です。
- ・ R での簡単なデータ加工や社会調査データのもつ基本的な特徴、および回帰分析のごく基礎的な知識については既知のものとして進めます。事前に必要な知識の目安としては、こちらのウェブページ(https://ryotamugiyama.github.io/seminar_sociology_r/)の Chapter 2~9 程度とお考えください。
- ・ 事前に、R および RStudio のインストールを済ませておいてください。必要パッケージのインストールについては事前にお知らせします。

■本コースの日程

- ・ パネルデータで何ができるか
- ・ パネルデータの構造と作成手順
- ・ 固定効果モデル

- ・ 差分の差分法・イベントスタディ
- ・ ランダム効果モデル
- ・ カテゴリ変数を従属変数としたモデル
- ・ 脱落の問題とその対処

*進度によって内容が若干変わることがあります。